

# 巻頭言

社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団  
理事長 中塚 洋一

かがわ総合リハビリテーションセンター会誌第一号の発刊から2年が経過しましたが、この度第二号を発刊できましたことを、大変喜ばしく思います。センター職員の頑張りの成果ですが、今回は17題と第一号を上回る投稿があります。医師、歯科医師から3題、看護師から3題、リハビリテーション部から5題の他、視能訓練士の1題があります。また、地域・生活支援部からは5題の投稿があり、就労支援員、生活支援員、職業指導員、社会福祉士のいわゆる福祉職からの投稿です。医師、歯科医師は論文投稿に慣れている方も多いのですが、他の職、特に福祉職にとっての論文執筆は試行錯誤の状況であったと想像されます。ご苦労様でした。17題の論文は、いずれもそれぞれの職種にとって現在の問題点を論じたものです。明らかにした問題点を考察し解決できるように、日常の業務に励んでいただきたいと思います。また、センター会誌のみならず、様々な学会、研究会での発表、論文投稿を期待しています。

さて、当センターは昭和61年に香川県が設立した事業団であります。事業団による運営のため、県立民営施設と位置付けられます。平成18年に香川県身体障害者総合リハビリテーションセンターから、かがわ総合リハビリテーションセンターへと名称を変更しましたが、7年を経過しこの名称も定着してきたようです。また、平成18年4月に香川県より指定管理者に指定され、昨年度末で7年間の指定管理期間を終了しました。指定管理期間の業績が良好であったため、平成25年4月1日より新たに7年間の指定管理者となりました。大変喜ばしいことですが、今後とも利用者サービスの向上と経営改善、効率化を目指さなければなりません。センター職員の更なる奮起をお願いします。

成人支援施設では就労移行支援の利用者が増えています。本誌の論文にもありますが、様々な取組みによって多くの方々の就労につながっています。こども支援施設および療養介護施設は満床に近い状況が続いています。今後、何らかの対策が必要と考えています。また、病院部門では脳血管疾患、脊髄損傷、下肢切断等の中途障害を持たれた方のご紹介が増えてきています。香川県内の基幹病院からのご紹介の方が多いのですが、時々入院をお待たせすることを申しわけなく思っています。当センターの認知度が高まったことによるものと考えますが、より効率的な運営に務めて参ります。

当センターの職員数は、平成25年4月1日現在314名になりました。ここ数年療法士を主に新規採用を増やしてきましたので、若い職員が他部署の仕事内容を十分理解できているかどうか不安があります。会誌を発行することは他部署の業務内容を知ることになり、さらに自らの業務に対するモチベーションの向上につながると考えています。会誌をお届けする関係機関、関係者の皆様には、当センターが行っている広義のリハビリテーションへの理解を深めていただく契機になるかと思えます。どうかご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

第一号でも申し上げましたが、論文執筆に慣れていないこともあり本会誌には色々と不備な点も多いかと思いますが、ご容赦ください。最後に、本会誌の作成に直接御尽力いただいた編集委員会の皆さんに感謝します。